

# 健康診断だより

## 尿検査 編

〈日時〉 4月20日(木)朝・21日(金)朝

〈提出方法〉 朝登校したら、回収袋に検体を入れ、名簿に○をつける。

〈備考〉 業者の方が朝のうちに回収に来ます。  
登校したら、すぐに提出してください。

ビニール袋に入れてきた人は、袋から出して提出してください。



## 尿検査の受け方

### 前日

19日(水)の帰りの会で、尿検査セットが配られます。

検査前日の夜は、用を足してから就寝します。

#### 尿検査セット

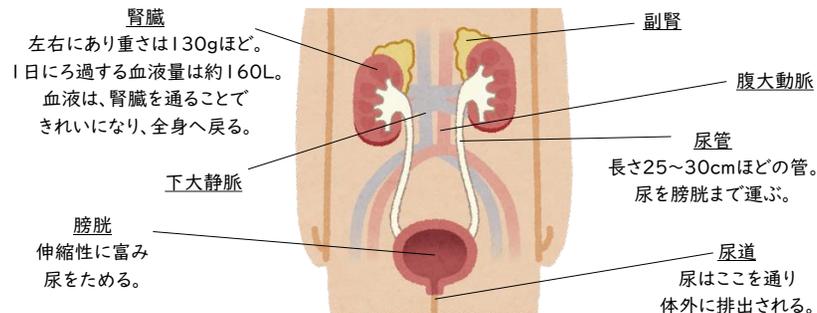


### 当日

- ①起床直後、尿を少し出してから、白いコップに尿を半分ほど採ります。
- ②白いコップを傾けながら、透明の採尿管に尿を入れます。
- ③フタをしっかりと閉めます。

## ちょっと解剖学「尿」

今回は、尿の作られ方についてです。まず、腎臓で血液中の老廃物や毒素など不要なものを取り除きます。ここで出た老廃物などと余分な水分からなるものを“原尿”と言います。原尿は、腎臓内にある尿細管というところを通る間に、大部分の水分と必要な成分が再吸収され、残った老廃物や水分が“尿”となります。



1日の尿量は、成人で約1~1.5Lとされています。

## 尿検査で分かること

### 糖尿病

インスリンというホルモンが不足し、上手く働かなくなることで、血液中の糖の濃度が高い状態が長く続きます。小児期に多いI型と中年期以降に多いII型があります。

症状は、のどが渇く、トイレが近くなる、食べてもやせる、など。放置していると、様々な臓器に障害をもたらします。必ず治療を受けましょう。



### ネフローゼ症候群

腎臓に障害が起こり、尿中に多量のタンパク質が流れ出てしまいます。

症状としては、食欲がなくなる、全身がだるい、むくみなどがあります。疑われる際は、早く病院へ行き治療をする必要があります。

### 腎炎

細菌の感染などによって、腎臓に炎症が起こります。症状としては、血尿、頭痛、発熱、むくみなどがあります。慢性化しないために、完全に治療することが大切です。

